

Title	表紙、プログラム、奥付
Author(s)	
Citation	年次学術大会講演要旨集, 25
Issue Date	2010-10-09
Type	Others
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/9229
Rights	本著作物は研究・技術計画学会の許可のもとに掲載するものです。This material is posted here with permission of the Japan Society for Science Policy and Research Management.
Description	

講演要旨集

研究・技術計画学会

第25回年次学術大会

2010. 10.9～10 東京

第 25 回 年 次 学 術 大 会

講 演 要 旨 集

2010 年 10 月 9 日 (土) ~ 10 日 (日)

亜細亜大学 2号館

東京都武蔵野市境5-24-10 〒180-8629

研究・技術計画学会

The Japan Society for Science Policy and Research Management

一般講演要旨集

	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
	一般講演 〈ホットイシュー〉 アカデミック研究からの イノベーション創出、そ のマネジメントと評価①	一般講演 〈ホットイシュー〉 科学技術と社会のコミュ ニケーションを再考する ①		一般講演 〈ホットイシュー〉 新興国市場台頭、市場 グローバル化に対応し た研究・技術開発・マネ ジメント①	一般講演 産官学連携①	一般講演 〈ホットイシュー〉 『科学技術イノベーシ ョン政策の科学』の推進 ①	一般講演 標準化①	一般講演 地域科学技術研究①	JWSE企画セッション① 21世紀の女性技術者
	座長 佐久田 昌 治	座長 石 塚 隆 男		座長 近 藤 正 幸	座長 奥和田 久 美	座長 赤 池 伸 一	座長 江 藤 学	座長 勝 本 雅 和	司 会 吉 祥 瑞 枝
9:00	1B01 国立大学による出願 特許の分析:東海3 県の国立大学の事 例から ○細野光章(文科 省・科学技術政策 研)	1C01 政策立案及び公的 研究開発のための 社会問題抽出手法 の検討(その1)諸外 国先進事例における 社会問題抽出手法 ○治部眞里, 川原武 裕, 石黒 傑(科学 技術振興機構), 柿 崎 平, 南條有紀, 山崎香織, 田中浩 史, 増山綾香(日本 総研), 佐久田昌治 (日大)		1E01 電気電子領域の研 究活動の東アジアシ フト ○白川展之, 野村 稔, 古川貴雄, 奥和 田久美(文科省・科 学技術政策研)	1F01 地域イノベーション 創出総合支援事業 の事例を基にした大 学の研究成果の活 用方法について ○小西 隆(科学技 術振興機構)	1G01 大転換期における科 学技術・イノベーシ ョン政策の推進強化 ○旭岡勝義(社会イ ンフラ研究センター)	1H01 新興国市場での標 準活用戦略 ○高梨千賀子(立命 館大)	1I01 都道府県における科 学技術振興ビジョン 等の特性比較 ○三橋浩志(文科 省)	9:00～10:00 パネル討論 挨拶 ○池島政広(亜細亜 大学大学院アジア・ 国際経営戦略研究 科委員長) パネリスト ○玄間千映子(アル ティスタ人材開発研 究所) ○小宮 泉(科学技 術振興機構) ○椿美智子(電通 大) コメンテーター ○弘岡正明(テクノ 経済研究所)
9:15	1B02 アカデミック研究から のイノベーション創 出のプラットフォーム としてのNPO法人の 可能性 ○茶山秀一(文科 省・科学技術政策 研), 石黒 周(研究 開発型NPO振興機 構), 小嶋典夫(山形 大)	1C02 政策立案及び公的 研究開発のための 社会問題抽出手法 の検討(その2)我が 国における社会問題 抽出・重要度評価の 試み ○治部眞里, 川原武 裕, 石黒 傑(科学 技術振興機構), 柿 崎 平, 南條有紀, 山崎香織, 田中浩 史, 増山綾香(日本 総研), 佐久田昌治 (日大)		1E02 鉄鋼・金属材料分野 における日本の研究 開発の国際性の評 価 ○玉城わかな, 奥和 田久美(文科省・科 学技術政策研)	1F02 日本の大学等発ベン チャーの現状分 析:2009年度大学等 発ベンチャーへのア ンケート調査より ○小倉 都(文科省・ 科学技術政策研)	1G02 「政策のための科 学」形成への示唆— 欧(PRO INNO)米 (SoSP & SciSIP)比 較の視点から— ○平澤 洽(ナレッ ジフロント), 吉澤 剛(東大), 田原敬一 郎(未来工研)	1H02 事前標準を前提とし たビジネスモデル ○内田康郎(富山 大)	1I02 「長崎県新科学技術 振興ビジョン」の策定 戦略 ○中村 修, 野中一 宏, 西村一宏, 上原 哲之, 稲田雅厚(長 崎県科学技術振興 局)	

10月9日(土) 09:30~10:30

※ 各会場の講演番号、講演題目及び講演者の項目は各講演要旨へリンクしています。但し、リンクされない項目もあります。

	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
9:30	<p>1B03 米国におけるリサーチアドミニストレーターの役割と我が国への導入方策 ○高橋 宏, 北澤宏一(科学技術振興機構)</p>	<p>1C03 アウトリーチ活動実態の研究機関評価への利用可能性 ○小林俊哉(富山大), 緒方三郎(北陸先端科学技術大学院大)</p>		<p>1E03 研究者の流動性に注目したロボティクス研究の国際比較 ○古川貴雄, 白川展之, 奥和田久美(文科省・科学技術政策研)</p>	<p>1F03 大学発ベンチャーのパフォーマンスに影響を与える要因に関する実証分析 ○平井祐理, 渡部俊也(東大), 犬塚 篤(岡山大)</p>	<p>1G03 SciSIPプログラムの内容分析 ○吉澤 剛(東大), 平澤 冷(ナレッジフロント), 田原敬一郎(未来工研)</p>	<p>1H03 ソフトウェアプロセス標準化における組織改善の学習モードモデル ○舛薙 匠(東芝/北陸先端科学技術大学院大), 杉原太郎, 井川康夫(北陸先端科学技術大学院大)</p>	<p>1I03 地域産業クラスターの競争優位の形成と技術開発—鹿児島県の焼酎産地の事例— ○佐脇政孝(産総研)</p>	
9:45	<p>1B04 分析をすると言うことは、なにをしさえすればよいのか ○江崎通彦(DTCNインタナショナル)</p>	<p>1C04 伝統工芸MOT教育におけるマーケティング教材の開発 ○緒方三郎, 加藤明, 小林一也(北陸先端科学技術大学院大)</p>	<p>一般講演 技術経営① 座長 渡部俊也</p>	<p>1E04 我が国におけるサービロボットの事業化に関する一考察 ○大重 隆, 金山恒二(NEDO)</p>	<p>1F04 利益相反のマネジメントの現状と課題—米国の動向からの検討 ○西尾好司(富士通総研)</p>	<p>1G04 政策科学と科学技術イノベーション政策の科学 ○田原敬一郎(未来工研), 吉澤 剛(東大), 平澤 冷(ナレッジフロント)</p>	<p>1H04 無線通信システムの標準化成功要因について ○大島等志, 宮崎久美子(東工大)</p>	<p>1I04 地域科学技術イノベーション政策における国と地方公共団体の機能分担に関する考察 ○岡本信司(文科省)</p>	
10:00	<p>1B05 討論</p>	<p>1C05 安全性の論証構造を用いた関係者間コミュニケーションの共有プラットフォーム ○大澤英昭, 日置一雅, 牧野仁史, 仙波毅, 梅木博之(日本原子力研究開発機構), 高瀬博康(クイーンテッサジャパン)</p>	<p>1D05 日本企業の研究開発/製品開発の動向:3年間の時系列調査の結果より ○濱岡 豊(慶應大)</p>	<p>1E05 グローバル環境ビジネスのフレームワーク ○尾崎弘之(東京工科大)</p>	<p>1F05 金融機関版Proprius21:金融機関を通じた中小企業との産学連携 ○寛 一彦(東大), 大田与洋(東大/NEDO), 荒又幹夫(東大)</p>	<p>1G05 日米英の科学技術イノベーション政策形成プロセスの比較 ○北場 林, 林 幸秀(科学技術振興機構)</p>	<p>1H05 ITUとIETF—技術標準に対する思想の違いが技術軌道に与える影響について— ○石松宏和, 杉原太郎, 井川康夫(北陸先端科学技術大学院大)</p>	<p>1I05 地域中小企業のイノベーション創出を促進する公設試の機能 ○林 聖子(日本立地センター), 田辺孝二(東工大)</p>	<p>JWSE企画セッション② 21世紀の女性技術者 司会 鳥井 弘之</p>
10:15		<p>1C06 討論</p>	<p>1D06 産総研方式「社会ニーズ測定法」の開発と試行 ○佐脇政孝, 森 郁恵, 森本慎一郎(産総研)</p>	<p>1E06 BOPビジネスにおけるR&Dの新しいスキーム ○肥本英輔(日本能率協会)</p>		<p>1G06 エビデンスベースの科学技術政策の実現に向けたイノベーションデータベースの構築 ○元橋一之(東大), 鈴木 潤(政策研究大学院大)</p>	<p>1H06 幹細胞技術の標準化:技術分類と検討フレームワークの提案 ○仙石慎太郎(京大), 隅藏康一(政策研究大学院大), 沖俊彦(東大)</p>		<p>10:15~11:45 パネル討論 (出演者は次頁)</p>
10:30									

10月9日(土) 10:30~11:15

※ 各会場の講演番号、講演題目及び講演者の項目は各講演要旨へリンクしています。但し、リンクされない項目もあります。

	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
10:30		討論続き	1D07 イノベーションの消費扇動信号と消費者のイノベーション誘発信号の共鳴—経済的機能を超えた超機能の協創 ○渡辺千仞(東京成徳大/シンガポール国立大)	1E07 討論		1G07 討論			挨拶 ○中原恒雄(日本工学会アカデミー名誉会長, 本学会元会長) パネリスト ○板倉周一郎(文部科学省基盤政策課長) ○小口幸成(神奈川工科大学名誉教授 [前学長], 鴎友学園理事長) ○松本和子(東京理科大学准教授) ○長谷川幹雄(東京理科大学准教授)
10:45									
	一般講演 (ホットイシュー) アカデミック研究からのイノベーション創出、そのマネジメントと評価②	一般講演 (ホットイシュー) 科学技術と社会のコミュニケーションを再考する②	一般講演 技術経営②	一般講演 (ホットイシュー) 新興市場台頭、市場グローバル化に対応した研究・技術開発・マネジメント②	一般講演 科学技術と大学	一般講演 (ホットイシュー) 『科学技術イノベーション政策の科学』の推進②	一般講演 標準化②	一般講演 地域科学技術研究②	コメントーター ○今井兼一郎(IHI元専務取締役)
	座長 高橋 宏	座長 標葉隆馬	座長 渡辺千仞	座長 尾崎弘之	座長 岡本信司	座長 鈴木 潤	座長 元橋一之	座長 西尾好司	
11:00	1B08 アカデミック・イノベーション・マネジメント①: 大学・公的研究機関における科学技術経営 ○仙石慎太郎, 小玉裕之(京大)	1C08 理数教育と社会のコミュニケーション ○岩淵晴行(科学技術振興機構)	1D08 製造業の競争力を強化する「生産技術経営」—生産技術部門の連携に関する一考察— ○清野武寿(東芝), 京増信夫(セイコーインスツル), 野村重夫(沖電気)	1E08 海外展開中心の研究開発型中小企業と研究開発独法との製品開発マネジメントの連携 ○根本正博, 呉田昌俊, 美留町厚(日本原子力研究開発機構), 下平 武, 下平克彦(田中科学機器製作)	1F08 我が国主要大学・主要研究拠点と世界トップレベル機関との比較分析調査(その1)大学のベンチマーキング調査 ○佐久田昌治(日大), 南條有紀, 石塚冬樹, 大木登志枝, 岡元真希子, 原田喜浩, 粟田 輝(日本総研), 桑原輝隆, 永田晃也, 上野彰, 長谷川光一, 大西宏一郎(文科省・科学技術政策研)	1G08 エビデンスに基づく科学技術イノベーション政策形成のための「科学技術イノベーション政策の科学」構築に向けて ○岡村麻子, 赤池伸一, 黒田昌裕, 有本建男, 長野裕子, 佐藤 靖(科学技術振興機構)	1H08 研究開発成果としての標準化 ○江藤 学(一橋大), 伊神正貫(文科省・科学技術政策研), 伊地知寛博(成城大), 長岡貞男(一橋大)	1I08 地域イノベーション・システム研究に関する一考察 ○平田 実, 永田晃也(九州大)	
11:15									

10月9日(土) 11:15~12:00

※ 各会場の講演番号、講演題目及び講演者の項目は各講演要旨へリンクしています。但し、リンクされない項目もあります。

	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
11:15	<p>1B09 アカデミック・イノベーション・マネジメント②: 21世紀COEプログラムの研究促進効果の実証分析 ○福澤尚美, 依田高典(京大)</p>	<p>1C09 聴者にも演者にも有意義な科学・技術コミュニケーションの場 ○谷口邦彦</p>	<p>1D09 組込みソフトウェアにおける生産技術の戦略的ロードマッピング ○河野智樹(立命館大/オムロンソフトウェア), 香月祥太郎(立命館大)</p>	<p>1E09 日本企業の中国における研究開発と米国における研究開発の比較 ○近藤正幸(横国大), 松井 功(研究産業協会)</p>	<p>1F09 我が国主要大学・主要研究拠点と世界トップレベル機関との比較分析調査(その2)研究拠点のベンチマーキング調査 ○南條有紀, 石塚冬樹, 大木登志枝, 原田喜浩, 岡元真希子(日本総研), 佐久田昌治(日大), 桑原輝隆, 永田晃也, 上野彰, 長谷川光一, 大西宏一郎(文科省・科学技術政策研)</p>	<p>1G09 政府の科学技術イノベーション戦略の経済・非経済効果の測定手法に関する考察 ○赤池伸一, 岡村麻子(科学技術振興機構)</p>	<p>1H09 国際標準化と知財マネジメント—技術立国・知財立国のジレンマとその克服に向けて— ○小川紘一(東大)</p>	<p>1I09 特許生産の空間配置に関する実証分析—化学メーカーを例に— ○鈴木憲之, 勝本雅和(京都工芸繊維大)</p>	
11:30	<p>1B10 アカデミック・イノベーション・マネジメント③: 異分野融合型研究拠点のマネジメントと評価 ○安西智宏(東大), 草間亮一, 仙石慎太郎(京大)</p>	<p>1C10 科学技術コミュニケーションの著されかた ○齋藤芳子, 戸田山和久(名古屋大)</p>	<p>1D10 半導体製造装置サブシステムにおける技術伝播—ターボ分子ポンプのケース— ○四十宮隆俊, 藤村修三(東工大)</p>	<p>1E10 中国の技術流通市場—専利ライセンス登録データの分析— ○渡部俊也, 李 聖浩(東大)</p>	<p>1F10 国立大学教授就任に係る異動・昇格に関するカテゴリカルデータ分析 ○細坪護挙(文科省・科学技術政策研)</p>	<p>1G10 客観的根拠に基づく政策形成に向けて—「政策のための科学」の推進— ○柿田恭良, 斉藤卓也, 原 裕, 下村智子, 宮地俊一(文科省)</p>	<p>1H10 「標準化」の多様性—概念整理の試み— ○妹尾堅一郎(東大/NPO法人産学連携推進機構), 伊澤久美, 金尾良子, 藤本 徹(NPO法人産学連携推進機構)</p>	<p>1I10 人的資本の空間集積に関する経済効果分析 ○勝本雅和(京都工芸繊維大)</p>	
11:45	<p>1B11 基礎研究からの技術イノベーション創出ダイナミズム—科学技術振興機構戦略的創造事業の事例— ○中川正広, 吉田秀紀, 佐々 正(科学技術振興機構)</p>	<p>1C11 内外の科学学術雑誌の比較から見えてくるもの ○石塚隆男(亜細亜大)</p>	<p>1D11 インクジェット市場創出期の関連企業R&Dマネジメント差に関する考察: 公開特許発明者数分析と技術選択の視点から ○橋本 健, 藤村修三(東工大)</p>	<p>1E11 製品開発の適応と市場成果—中国市場における日本企業の製品開発とその背景— ○伊藤善夫(亜細亜大)</p>	<p>1F11 文理融合プロジェクトの推進に向けた研究者の意識—アンケート調査に基づく分析— ○丸山浩平, 一ノ瀬貴, 小林直人, 中島啓幾(早大)</p>	<p>1G11 科学技術イノベーション政策の科学の推進における国立シンクタンクの役割 ○牧慎一郎(文科省・科学技術政策研)</p>	<p>1H11 国際標準化は目的か—「国際標準化」政策における注意点— ○妹尾堅一郎(東大/NPO法人産学連携推進機構)</p>	<p>1I11 地域産業と地域イノベーションシステムの進化過程に関する実態分析 ○外柙保大介(文科省・科学技術政策研)</p>	

12:00

10月9日(土) 12:00~13:00

※ 各会場の講演番号、講演題目及び講演者の項目は各講演要旨へリンクしています。但し、リンクされない項目もあります。

	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
12:00	1B12 科学研究における技術成熟度の変化に伴う効果的なコラボレーションマネジメントの変化—太陽電池研究を事例に— ○友澤孝規, 梶川裕矢(東大), 武田善行(千葉工大), 元橋一之(東大)	1C12 テクノロジーアセスメントとコミュニケーションに求められる資質は何か? ○吉澤 剛(東大)	1D12 水平分業化に対する日本の電子部品メーカーの戦略分析 ○桑原 功, 長田洋(東工大)	1E12 大連ハイテクパークにおける日・中企業の共進的内生進化過程分析 ○藤 祐司(新潟大)	1F12 米国における安全保障関連諸規制と学術研究—競争力強化論議を背景とした新たな展開 ○遠藤 悟(東工大)	1G12 科学技術予測のテキストにおける意味あるメッセージの自動抽出 ○奥和田久美, 横尾淑子(文科省・科学技術政策研), 小関悠, 鶴戸ロ志郎(三菱総研)	1H12 事業戦略における「標準マネジメント」—事業に資する標準の使い方を整理する— ○妹尾堅一郎(東大/NPO法人産学連携推進機構), 伊澤久美, 金尾良子, 藤本 徹(NPO法人産学連携推進機構)	1I12 新聞記事データ・ベースを利用した伝統産業盛衰要因の一考察 ○山下幸裕, 中森義輝(北陸先端科学技術大学院大)	
12:15	1B13 討論	1C13 討論	1D13 技術革新のタイムラグ—自動車エレクトロニクスの開発事例 ○朱 穎(九州大)	1E13 インド特許法2005年改正に盛り込まれたセーフガード条項の製薬産業へのインパクト軽減効果にかかわる検証 ○三森八重子(東工大)		1G13 討論	1H13 知的財産活動に関する標準化活動に係る定量データの収集手法の再現性及びデータを活用したイノベーション活動の評価方法についての研究 ○田村 傑(早大)		
12:30				1E14 討論					
12:45									
13:00	休憩								

10月9日(土) 13:30~13:45 A会場(1階 200教室)

総会

10月9日(土) 13:45~14:15 A会場(1階 200教室)

会長講演

坂倉 省吾 (本学会会長)

「初期のMOTと研究・技術計画学会の創立およびその後」

10月9日(土) 14:15～14:45 A会場(1階 200教室)

表彰式(功労賞)

10月9日(土) 14:45～15:15 A会場(1階 200教室)

表彰式(学会賞・論文賞), 表彰者講演

学会賞受賞者: 宮崎 久美子 氏 (東京工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科)

「この20年間で行って来た技術経営戦略に関する研究について」

論文賞受賞者: 姜 娟 氏 (東京大学政策ビジョン研究センター)

「『イノベーション政策』の概念変化に関する考察—OECDの政策議論を中心とする—」

10月9日(土) 15:30～16:00 A会場(1階 200教室)

特別講演

池 島 政 広 (亜細亜大学大学院アジア・国際経営戦略研究科委員長、前亜細亜大学学長)

「中国版MOT: 巨大市場を掴む戦略的技術経営」

10月9日(土) 16:00～17:30 A会場(1階 200教室)

パネルディスカッション「日本企業のアジア展開」

パネリスト

北 川 亮 一 (アサヒビール株式会社国際部長)

「アサヒビールの中国・アジア戦略」

金 堅 敏 (株式会社富士通総研主席研究員, 亜細亜大学大学院講師)

「事例から見た中国中間層市場開拓のあり方」

高 島 大 浩 (日本貿易振興機構 [ジェトロ] 総務部広報課長)

「タイを中心とした日本企業の進出と市場開拓の課題」

柳 原 秀 基 (日産自動車株式会社新車生産技術部エキスパートリーダー)

「ものづくりの変遷とアジア戦略」

司 会

後 藤 康 浩 (日本経済新聞社編集委員, 亜細亜大学大学院講師)

	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
9:00			<p>一般講演 〈ホット 이슈〉 科学技術政策における 国の役割</p> <p>座長 小林 直人</p>	<p>一般講演 国際競争力・産業競争 力①</p> <p>座長 玉田 俊平太</p>	<p>一般講演 分野別のR&Dマネジメ ント①</p> <p>座長 加藤 敦宣</p>	<p>一般講演 〈ホット 이슈〉 『科学技術イノベーシ ョン政策の科学』の推進 ③</p> <p>座長 小林 信一</p>	<p>一般講演 知的財産権①</p> <p>座長 田辺 孝二</p>	<p>一般講演 産官学連携②</p> <p>座長 隅 藏 康一</p>	<p>一般講演 〈English Session〉 R&D Management and Competition</p> <p>座長 藤原 孝男</p>
	<p>一般講演 研究開発システムとモ デル</p> <p>座長 名取 隆</p>	<p>一般講演 科学社会学</p> <p>座長 調 麻佐志</p>	<p>2D01 科学技術情報政策 に求められる視点— 日本におけるその “根拠”をめぐる議論 をふまえて ○前田知子(政策研 究大学院大)</p>	<p>2E01 トップシェア企業およ び業界内順位変動 に関する実証分析 ○田淵泰男(国土館 大)</p>	<p>2F01 新薬研究開発の成 功に影響を与える要 因の分析—アンジオ テンシンII受容体拮 抗薬研究開発の事 例分析より— ○奥山 亮, 長田 洋(東工大)</p>	<p>2G01 政策形成に関与す る科学に係る行動規 範について ○佐藤 靖, 有本建 男(科学技術振興機 構)</p>	<p>2H01 生物多様性条約に おける研究材料と研 究成果の取り扱いに 関する考察 ○檜原清史, 加藤 浩(日大)</p>	<p>2I01 民間企業が研究連 携先に選ぶ大学の 評価要素 中山保夫, ○細野光 章(文科省・科学技 術政策研)</p>	<p>2J01 Identification and Comparison of Innovation Patterns of Firms in Four Service Industries by Analyzing Patents ○Hyejin LEE, Kumiko MIYAZAKI (Tokyo Institute of Technology), Yeonhe e LEE(GSTEP)</p>
9:15	<p>2B02 地域イノベーションク ラスタープログラムに おける研究プロジェ クトの統合性・ステ ージング検証 ○大津留榮佐久(福 岡県産業・科学技術 振興財団)</p>	<p>2C02 日・米・英における国 民の科学技術に関 する意識の比較調 査—2009年3月調査 — ○栗山喬行(文科 省・科学技術政策 研)</p>	<p>2D02 個の医療を実現可 能にする日本の新産 業創成にかかる考察 ○千田一貴 (Rainbow BioScience, LLC)</p>	<p>2E02 「第2回全国イノベ ーション調査」による企 業のイノベーション 活動に関する考察 ○西川浩平(文科 省・科学技術政策 研)</p>	<p>2F02 創薬研究開発イノ ベーションの再評価 —市場牽引型研究 開発の意義 ○高橋義仁(専修 大)</p>	<p>2G02 科学技術イノベ ーション政策の科学の ための分析手法の 動向 ○梶川裕矢, 坂田一 郎(東大)</p>	<p>2H02 生物多様性条約と知 財制度の調和に関 する一考察 ○加藤 浩(日大)</p>	<p>2I02 民間企業の研究開 発に関する実態調 査の2次分析:研究 開発の外部連携を 中心に一研究産業 協会「平成21年度民 間企業の研究開発 動向に関する実態 調査」— ○尹 諒重(名古屋 商科大), 大田与洋 (東大/研究産業協 会), 松井 功(研究 産業協会)</p>	<p>2J02 Analytical Framework for the Study of the Emergence and Evolution of New Innovation Systems ○Alfonso AVILA- ROBINSON, Kumiko MIYAZAKI(Tokyo Institute of Technology)</p>
9:30									

	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
9:30	2B03 論文共著者で見る研究者の組織内ネットワーク—研究組織マネジメントの可視化の試み— ○村田賢彦(産総研)	2C03 環境制約を考慮したライフスタイルの評価構造抽出と社会的受容性に関する分析 ○瀧戸浩之, 古川柳蔵, 石田秀輝(東北大), 増田拓也(花王)	2D03 米国エネルギー研究に見られる課題解決型の取り組み ○金子直哉, 佐藤みず穂, 有本建男(科学技術振興機構)	2E03 外部支出研究費の内訳—平成21年度民間企業の研究活動に関する調査結果より— ○長谷川光一(文科省・科学技術政策研), 永田晃也(九州大), 山内 勇(文科省・科学技術政策研), 篠崎香織(東京富士大), 米山茂美(文科省・科学技術政策研)	2F03 希少疾病医薬品承認・開発の現状および国際比較 ○西村由希子(東大)	2G03 類似度分析を用いた科学技術知識のマッピング手法 ○梶川裕矢, 柴田尚樹, 坂田一郎(東大)	2H03 医薬品特許に関する国際的な分析調査 ○加藤 浩(日大)	2I03 産学連携の一つのモデルとしての「オープンコラボレーション」—東北大学江刺研の実践から学ぶ— ○姜 娟(東大)	2J03 Open Innovation in Robotic Software—Patterns and Implications ○Zhongquan XIE, Kumiko MIYAZAKI (Tokyo Institute of Technology)
9:45	2B04 技術知識の生成から衰退まで—「民間企業の研究活動に関する調査」による基礎データの整備— ○永田晃也(九州大), 長谷川光一, 山内 勇(文科省・科学技術政策研), 大西宏一郎(大阪工大), 篠崎香織(東京富士大)	2C04 ライフスタイル・ハザードマップ作成手法の高度化に関する研究—家計調査を用いて— ○増田拓也(花王), 古川柳蔵, 石田秀輝(東北大)	2D04 討論	2E04 日本企業のデザインマネジメント—平成20年度民間企業の研究活動に関する調査結果より— ○長谷川光一(文科省・科学技術政策研), 永田晃也(九州大)	2F04 生物資源イノベーションの俯瞰図—農林水産6次産業化への一考察— ○妹尾堅一郎(東大/NPO法人産学連携推進機構), 伊澤久美(NPO法人産学連携推進機構)	2G04 科学技術知識のマッピング研究の現状と今後の課題 ○伊神正貫, 阪 彩香(文科省・科学技術政策研), 梶川裕矢(東大)	2H04 企業M&Aと知的財産マネジメント ○佐伯とも子(東工大)	2I04 治療系医療機器の医工連携に関する研究(研究背景と仮説) ○西平守秀(立命館大)	2J04 Mobile technological shift from 2G to 3G: A review of scientific research activities ○Muhammad SURYANEGARA, Kumiko MIYAZAKI (Tokyo Institute of Technology)
10:00	2B05 研究開発プロジェクトの評価方法に関する実証的研究 ○三橋章男, 阿部 惇(立命館大), 正野 記美代(塩野義製薬)	2C05 食の機能化に対する公衆の思考・行為フレームワークに関する実証的分析—フォーカスグループインタビュー調査結果を中心に— ○上野伸子(東大)		2E05 産業競争力強化に向けた消費者特性資源化の提案 ○刀川 眞(文科省・科学技術政策研/室蘭工大)	2F05 科学の発明・発見の関連要因 ○額賀淑郎(文科省・科学技術政策研)	2G05 討論	2H05 JAグループにおける地域団体商標の出願傾向 ○妹尾 祥, 佐伯とも子(東工大)	2I05 知的創造サイクルの再考 ○西川洋行(大分大)	2J05 Foreign Investment and Development of Water Business in China: Based on Option-Game Approach ○YanYan FENG, Takao FUJIWARA (Toyohashi University of Technology)

10月10日(日) 10:15~11:00

※ 各会場の講演番号、講演題目及び講演者の項目は各講演要旨へリンクしています。但し、リンクされない項目もあります。

	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
10:15	2B06 戦略情報活用型共同イノベーションに関する考察 ○永井明彦, 田辺孝二(東工大)					討論続き	2H06 パテントロール問題における対策の検討 ○山崎亮平, 加藤浩(日大)		2J06 The Application of Real Options Method in New Energy Vehicle R&D Investment Project: A Case Study of BYD Auto in China ○Jie HAO, Takao FUJIWARA (Toyohashi University of Technology)
	一般講演 (ホットイシュー) アカデミック研究からのイノベーション創出、そのマネジメントと評価③	一般講演 科学技術と社会・倫理問題	一般講演 技術経営③	一般講演 国際競争力・産業競争力②	一般講演 分野別のR&Dマネジメント②		一般講演 知的財産権②	一般講演 産官学連携③	
	座長 仙石 慎太郎	座長 吉澤 剛	座長 長谷川 光一	座長 永田 晃也	座長 阿部 仁志		座長 加藤 浩	座長 齋藤 裕美	
10:30	2B07 大学・公的研究機関における基礎研究の製薬・バイオ企業への貢献—発明者アンケートによる分析 ○隅藏康一, 齋藤裕美(政策研究大学院大)	2C07 Twitterによる参加型ジャーナリズム実現の可能性と報道機関への影響 ○青崎保好, 杉原太郎(北陸先端科学技術大学院大)	2D07 MOT教育コア・カリキュラムの開発(1) ○久保元伸, 上西研(山口大)	2E07 社会資本の老朽化・陳腐化の動向と課題 ○清 剛治(北陸先端科学技術大学院大), 清家彰敏(富山大)	2F07 イノベーションの創造、普及と共同研究における社会ネットワーク特性:CTスキヤナの特許データの分析より ○濱岡 豊(慶應大)	一般講演 (ホットイシュー) 『科学技術イノベーション政策の科学』の推進④	2H07 企業の組織再編(M&A)が研究開発効率に及ぼす影響 ○石井康之(東京理科大)	2I07 産学官連携コーディネーター/マネジメント人材と制度 ○西川洋行(大分大)	
						座長 佐藤 靖			
10:45	2B08 バイオ技術分野におけるアカデミック研究との高いリンクージュに関する考察 ○玉田俊平太(関西学院大)	2C08 キューリー夫人の理科教室—デイジー(DAISY)について ○吉祥瑞枝(サイエンススタジオ・マリー/東邦大)	2D08 MOT教育コア・カリキュラムの開発(2) ○久保元伸, 上西研(山口大)	2E08 社会資本の老朽化・陳腐化とグローバル政策—太平洋側工業立地時代の終焉— ○清家彰敏(富山大), 清 剛治(北陸先端科学技術大学院大)	2F08 総合電機メーカーにおける技術力指標と政府研究開発投資の活用度の分析 ○川名規之, 宮崎久美子(東工大)	2G08 日・欧の特許出願人名の名寄せとその分析 ○鈴木 潤(政策研究大学院大), 元橋一之(東大), Grid Thoma(カメリーノ大)	2H08 技術的指標と経済的指標を用いた特許の価値評価 ○木村 励, 田中義敏(東工大)	2I08 発表中止	

11:00

10月10日(日) 11:00~11:45

※ 各会場の講演番号、講演題目及び講演者の項目は各講演要旨へリンクしています。但し、リンクされない項目もあります。

	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
11:00	2B09 生命基礎研究のベンチャーによる事業化へのリアルオプション応用について ○藤原孝男(豊橋技術科学大)	2C09 発表中止	2D09 ものづくり中小企業による新市場・新製品開発の成功要因—MOT人材の育成が鍵— ○名取 隆(立命館大), 山本 聡(機会振興協会)	2E09 国際貿易にみる半導体製造装置産業の発展と競争力 ○近藤章夫(法政大)	2F09 情報通信企業における設計開発知の成長モデル ○山下智規, 井川康夫, 小坂満隆, 杉原太郎(北陸先端科学技術大学院大)	2G09 米国特許における非特許引用の分析とその政策評価に対する含意 ○調麻佐志(東工大)	2H09 Fターム「目的」調査に基づいた企業の研究開発マネジメント動向把握に関する提案 ○西平守秀(立命館大)	2I09 国際産学連携を志す若手研究者のための実践的英語プレゼンテーション講習会 ○加藤浩介, 松橋俊彦, ベーリン・クリスチャン(大阪大), 安藤茂彌(VentureAccess), 橋本千賀(Gallasus), 谷本親伯, 正城敏博(大阪大)	編集委員会 論文投稿に関する チュートリアルセッション 11:00~12:00 「研究 技術 計画」誌への論文投稿のすゝめ ○江藤 学(一橋大) 査読論文の作法: 文系の場合 ○安本雅典(横国大) 学術論文の書き方—論文の採択率を上げるためにできること— ○梶川裕矢(東大) 良い研究を良い論文に ○熊田 憲(東北大)
11:15	2B10 バッテリー交換型EVによる社会的ソリューション ○加藤敦宣(成城大)	2C10 持続可能なサービス経済のための科学技術人材の役割 ○白肌邦生(北陸先端科学技術大学院大), レイモンド・P・フィスク(テキサス州立大)	2D10 環境リサイクルにおけるSustainabilityの日本モデル 石油化学工業界の構造転換を通じたエコベースの新産業育成 ○八代英美(IMS/芝浦工大)	2E10 アジア金型産業の国際競争力の比較分析: タイ、マレーシアについて ○馬場敏幸(法政大)	2F10 知識集約的サービス業におけるサービス・イノベーション・マネージメントの課題 ○澤谷由里子, 藤垣裕子(東大)	2G10 産業財産権から見たNEDOプロジェクト成果の俯瞰分析 ○前野武史(NEDO), 梶川裕矢, 坂田一郎(東大)	2H10 国家R&D投資におけるロイヤルティ成果管理システムの構築—韓国事例を中心に— ○都 桂薫, 嚴 翼天(韓国科学技術企画評価院)	2I10 医療サービスサイエンスの創成と医療専門職の教育プログラム開発 ○神山資将(知識環境研究会), 池田満, 山崎友義, 崔亮(北陸先端科学技術大学院大)	
11:30	2B11 中小企業ベースの産学連携型イノベーションの効果的支援の在り方 ○原陽一郎(長岡大)	2C11 科学技術概念の整理・明確化の試み—人間の認知行動モデルに基づく— ○加藤寛治(文科省・科学技術政策研)	2D11 環境配慮型製品における意味的価値と普及戦略 ○大内紀知, 横田祐美(青山学院大)	2E11 対中品目別輸出入量とその単価の変動 ○若生彦治(国際印刷大)	2F11 組織の知識吸収能力の遷移を記述した知識相異性表現法の提案—有機TFT研究組織の事例分析— ○大西俊暢, 杉原太郎, 井川康夫(北陸先端科学技術大学院大)	2G11 研究評価報告書に記載された論文リストの分析 ○山本佳子, 吉村大輔, 竹下 満(NEDO)	2H11 自動車部品の意匠保護に関する一考察 ○伊藤圭祐(東京理科大)	2I11 医療サービスサイエンスに基づいた医療専門職教育における事例教材のアーカイブ方法論の提案 ○神山資将(知識環境研究会), 池田満, 山崎友義, 崔亮(北陸先端科学技術大学院大)	

11:45

10月10日(日) 11:45~13:15

※ 各会場の講演番号、講演題目及び講演者の項目は各講演要旨へリンクしています。但し、リンクされない項目もあります。

	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
11:45	2B12 討論		2D12 中国のレアメタル採掘・開発に伴う環境問題へのリアル・オプション応用—中小企業の観点から— ○高 娃, 藤原孝男 (豊橋技術科学大)	2E12 地域産業クラスターの成功要因及び促進政策に関する調査研究—中国大連高新技術産業園区を例に ○趙 偉琳(早大)	2F12 パブリックセクターにおける効果的なイノベーション推進手法—DMV開発のモデルケース— ○矢野博之(財務省)	2G12 討論	2H12 写真の著作物の創作性に関する一考察 ○梅津 薫(東京理科大)		
12:00									

12:15 休憩

	一般講演 評価①	一般講演 科学技術政策と政策論	一般講演 技術経営④	一般講演 国際競争力・産業競争力③	一般講演 〈ホットイシュー〉 グローバル化時代における産業の国際展開と人材育成①	一般講演 〈ホットイシュー〉 『科学技術イノベーション政策の科学』の推進⑤	一般講演 ナショナル・イノベーション・システム①	一般講演 女性と科学・技術	一般講演 技術経営⑥
	座長 林 隆之	座長 富澤宏之	座長 久保元伸	座長 近藤章夫	座長 桑原 裕	座長 梶川裕矢	座長 伊藤善夫	座長 武田康嗣	座長 田原敬一郎
13:00	2B13 エビデンス・ベースのJST事業成果可視化(1) ○治部眞里, 橋本定幸, 山崎雅和(科学技術振興機構)	2C13 OECDイノベーション戦略の概要と我が国の科学技術政策への示唆 ○下田隆二(東工大)	2D13 変革を捉える事業経営(その1) ○坂下誠司(パナソニック), 犬伏裕之(東芝), 伊原木正裕(横河電機), 永田淳次(沖電気), 平林裕治(清水建設/北陸先端科学技術大学院大), 光岡正秀(ソニー), 吉川高正(バイオニア), 阿部仁志(科学技術と経済の会)	2E13 ドコモとノキアの携帯電話における製品進化軌道の比較 ○吉田 廣, 渡辺 孝(芝浦工大), 児玉文雄, 加納新吾(東大)	2F13 ものづくり企業のグローバル人事と人材—中国日系企業の間管理層処遇をめぐる論点からの一考察 ○佐藤秀治, 黒田和光(日本生産性本部)	2G13 研究開発投資の費用対効果の定量的検討—重点4分野の比較と国際比較— ○中山智弘, 田中一宜(科学技術振興機構)	2H13 イノベーションをどう捉えるか:マイクロ・レベルでの測定法の枠組みに関する提案 ○伊地知寛博(成城大/文科省・科学技術政策研)	2I13 歴史の中の女性技術者 ○小林信一(筑波大)	2J13 日本的イノベーション・マネジメント(日本型MOT)の特徴—日本企業のためのMOT— ○田辺孝二(東工大), 出川 通(テクノ・インテグレーション)

13:15

	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
13:15	<p>2B14 エビデンス・ベースのJST事業成果可視化(2) ○治部眞里, 橋本定幸, 山崎雅和(科学技術振興機構)</p>	<p>2C14 国の研究開発事業における科学技術企画活動の効率的手法—韓国事例を中心に— 丁 榿夏, ○都 桂薫(韓国科学技術企画評価院)</p>	<p>2D14 変革を捉える事業経営(その2) ○坂下誠司(パナソニック), 犬伏裕之(東芝), 伊原木正裕(横河電機), 永田淳次(沖電気), 平林裕治(清水建設/北陸先端科学技術大学院大), 光岡正秀(ソニー), 吉川高正(バイオニア), 阿部仁志(科学技術と経済の会)</p>	<p>2E14 クラウド時代に向けた大手SI企業の新パラダイム考— “FREE”モデル適用による— ○高橋 浩(宮城大)</p>	<p>2F14 外国人研究開発者の雇用と戦略的活用 ○福谷正信(立命館アジア太平洋大)</p>	<p>2G14 地域における科学技術イノベーション政策が成果を挙げるための条件に関する一考察 ○新川雅之(東北公益文科大)</p>	<p>2H14 イノベーション論の批判的検討および新たなイノベーションの方向性の提示—企業の新製品開発のためのイノベーションの方向性— ○姜 英美(明治大)</p>	<p>2I14 女性工学系研究者・技術者が活躍している分野・活躍が期待される分野 ○椿美智子, 村瀬諒(電気通信大)</p>	<p>2J14 日本のイノベーション・マネジメント(日本型MOT)の特徴—日本型「イノベーションのジレンマ」— ○田辺孝二(東工大), 出川 通(テクノ・インテグレーション)</p>
13:30	<p>2B15 NEDOプロジェクト終了後における実用化・事業化の成功・中止要因に関する考察 ○福井和生, 山下勝, 真鍋洋介, 吉田准一, 吉村大輔, 竹下 満(NEDO)</p>	<p>2C15 競争的資金制度における中間機関の機能 ○吉澤 剛, 西村由希子(東大), 田原敬一郎(未来工研), 安藤二香(科学技術振興機構)</p>	<p>2D15 変革を捉える事業経営(その3) サービスイノベーション ○平林裕治(清水建設/北陸先端科学技術大学院大), 坂下誠司(パナソニック), 犬伏裕之(東芝), 伊原木正裕(横河電機), 永田淳次(沖電気), 光岡正秀(ソニー), 吉川高正(バイオニア), 阿部仁志(科学技術と経済の会)</p>	<p>2E15 電気電子・情報通信分野の研究開発における日本の変化とその内訳分析 ○野村 稔, 白川展之, 奥和田久美(文科省・科学技術政策研)</p>	<p>2F15 外国人をキーマンとするグローバル市場戦略—立命館アジア太平洋大学創立10周年からの提言— ○難波正憲(立命館アジア太平洋大)</p>	<p>2G15 地域における科学技術イノベーション政策の評価指標確立に向けた一考察 ○新川雅之(東北公益文科大)</p>	<p>2H15 PT(Personal Transportation)市場創出の可能性についての考察— Segweyの発明とこれまでの普及事例から— ○矢野博之(財務省)</p>	<p>2I15 「働きの“質”」の管理について ○玄間千映子(アルティスタ人材開発研究所)</p>	<p>2J15 日本のイノベーション・マネジメント(日本型MOT)の特徴(3)—日米欧韓中の技術、市場環境の相対比較と実践課題について— ○出川 通(テクノ・インテグレーション), 田辺孝二(東工大)</p>
13:45	<p>2B16 NEDOプロジェクトにおける費用対効果に関する一考察— 「NEDOインサイド製品」に関する調査結果の概要— ○真鍋洋介, 山下勝, 宍戸沙夜香, 福井和生, 吉田准一, 吉村大輔, 竹下 満(NEDO)</p>	<p>2C16 競争的資金の複数年度使用を可能にする方策の比較検討 ○茶山秀一(文科省・科学技術政策研)</p>	<p>2D16 サービススペースの統合型モデルによるイノベーションの創出 ○城村麻理子(東芝ソリューション), 鈴木浩(GEエナジー)</p>	<p>2E16 電子ブック事業の日米技術覇権競争—日本は何故、米国に逆転されたのか— ○山本尚利(早大)</p>	<p>2F16 グローバル化時代の展開戦略とリーダー人材の育成 ○旭岡勝義(社会インフラ研究センター)</p>	<p>2G16 中国におけるエコシティの建設とその特徴 ○松澤孝明, 趙 晋平, 単 谷(科学技術振興機構)</p>	<p>2H16 科学技術予測にみるライフイノベーションの推進の方策 ○重茂浩美, 関根進(文科省・科学技術政策研)</p>	<p>2I16 日本初の女性理学博士は誰か?—保井コノについて— ○吉祥瑞枝(JWSE)</p>	<p>2J16 日本のイノベーション・マネジメント(日本型MOT)の特徴(4)—企業規模別MOTの実践プロセスの課題と対応方向— ○出川 通(テクノ・インテグレーション), 田辺孝二(東工大)</p>

10月10日(日) 14:00~14:45

※ 各会場の講演番号、講演題目及び講演者の項目は各講演要旨へリンクしています。但し、リンクされない項目もあります。

	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
14:00	<p>2B17 NEDO プロジェクトから発生した派生技術に関する分析 ○吉田准一, 福井和生, 山下 勝, 吉村大輔(NEDO), 江藤学(一橋大), 竹下満(NEDO)</p>	<p>2C17 発表中止</p>	<p>2D17 サービス価値共創の段階的枠組みの洗練化と拡張可能性—各種サービス価値への適用をめぐって— ○中村孝太郎(イー・クラフト/北陸先端科学技術大学院大), 五嶋正風(リクルート・ワークス研究所)</p>	<p>2E17 地球温暖化防止における「セクトラル・アプローチ」普及過程の産業間差異と技術の果たす役割 ○本多清之, 井川康夫(北陸先端科学技術大学院大)</p>	<p>2F17 国際的知財アフェア・プロフェッショナルの育成事例研究 ○菊池純一(青山学院大)</p>	<p>2G17 幹細胞研究と再生医療をめぐる公共空間 ○標葉隆馬(京大/日本学術振興会)</p>	<p>2H17 生物の断続平衡進化とイノベーション ○弘岡正明, 山田保治(京都工芸繊維大)</p>		
14:15	<p>2B18 日本の水産研究における国際ベンチマーク調査に関する考察—Web of Scienceを用いた論文数の把握と比較対象機関の選定— ○高野正嗣(水産総合研究センター), 伊藤智子, 細羽見喬(農水省), 大関芳沖(水産総合研究センター)</p>	<p>2C18 宇宙基本法による宇宙開発利用推進の再考 ○熊田 憲(東北大)</p>	<p>2D18 ITサービス産業のビジネスモデルと経営戦略の分析 ○馬場達也, 長田洋(東工大)</p>	<p>2E18 太陽電池産業のアーキテクチャーと競争力:半導体, 液晶との比較研究 ○中田行彦(立命館アジア太平洋大)</p>	<p>2F18 討論</p>	<p>2G18 討論</p>			
							<p>一般講演 ナショナル・イノベーション・システム② 座長 伊地知 寛博</p>	<p>一般講演 人材問題 座長 妹尾 堅一郎</p>	
14:30	<p>2B19 研究者の評価モチベーションを考慮した研究活動情報データベースの構築 ○大関芳沖, 坂川信昭, 戸嶋忠良(水産総合研究センター), 昇 博也, 岸田邦裕(三菱スペース・ソフトウェア), 関弘美(農水省)</p>	<p>2C19 国立高等専門学校の将来像について—中央教育審議会答申、第二期中期計画を受けた高度化再編— ○渡部順一(東北工大)</p>	<p>2D19 金融情報システム開発におけるラディカルイノベーション対応に果たす技術企画スタッフの役割 ○成瀬 博, 杉原太郎, 井川康夫(北陸先端科学技術大学院大)</p>				<p>2H19 東南アジアの科学技術・イノベーション政策とその経済的・社会的背景—東南アジア5カ国を比較して— ○チャップマン純子, 林 幸秀(科学技術振興機構)</p>	<p>2I19 勤務医の研究ニーズの分析 ○伊藤裕子(政策研究大学院大/文科省・科学技術政策研)</p>	

14:45

	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
14:45	一般講演 評価② 座長 谷口邦彦	一般講演 メトリクス 座長 下田隆二	一般講演 技術経営⑤ 座長 西村由希子	一般講演 公的資金配分機関のマネジメント(前半) 科学技術のグローバル化(後半) 座長 熊田 憲	一般講演 〈ホットイシュー〉 グローバル化時代における産業の国際展開と人材育成② 座長 菊池 純一	一般講演 戦略形成 座長 山本尚利	2H20 環境先進都市ドイツ・フライブルグ市の取り組みと日本の取り組みの比較 ○高野良太郎, 林幸秀(科学技術振興機構)	2I20 スター研究者のキャリアパスにおける国際比較 ○加藤真紀(文科省・科学技術政策研)	
15:00	2B21 研究戦略に基づく構造的な研究評価(II) ○小林直人(早大), 中村 修(長崎県), 大井健太(産総研)	2C21 学際研究の実施は研究者の生産性にどのように影響するか ○清川朝日(筑波大), 鈴木崇史(東洋大), 芳鐘冬樹(筑波大)	2D21 公的研究に対する発明者の評価—パイオ・製薬企業に着目した分析 ○齋藤裕美, 隅藏康一(政策研究大学院大)	2E21 財政金融政策および公的金融によるファイナンスシステム安定化に関する一考察 ○亀谷祥治(日大)	2F21 オープン・イノベーションの課題と対応 ○桑原 裕(GVIN)	2G21 差別化戦略のための俯瞰解析法 ○中村達生(創知)	2H21 ロシアにおける高等教育機関の研究開発機能強化とイノベーション創出に向けた取り組み ○石川純子, 林幸秀(科学技術振興機構)	2I21 自然科学系を専門とする女性大学教員のキャリアパス分析 加藤真紀, ○星越明日香(文科省・科学技術政策研)	
15:15	2B22 国立大学法人評価における評価目的・評価モデルの多重性と評価方法の受容性 ○林 隆之, 齋藤聖子, 田中弥生(大学評価・学位授与機構)	2C22 科学論文を引用することは特許の影響力を増大させるか ○富澤宏之(文科省・科学技術政策研)	2D22 M&Aに伴う製品開発組織の知識統合 ○堀江宣裕, 杉原太郎, 井川康夫(北陸先端科学技術大学院大)	2E22 NEDOの省エネルギー革新技術開発事業における研究開発の段階的な支援に関する考察 遠藤勇徳, ○田嶋咲子(NEDO)	2F22 オープン・イノベーションの事例と分析 ○桑原 裕(GVIN)	2G22 新たな事業モデル構築時代の成功戦略の策定手法 ○旭岡勝義(社会インフラ研究センター)	2H22 フランスの科学技術・イノベーション政策と国債を原資とした研究開発投資 ○津田博司, 林幸秀(科学技術振興機構)	2I22 アカデミックキャリアパスと研究環境に関する分析—世代と研究分野による相異— ○齋藤経史(文科省・科学技術政策研), 中務貴之(日本総研)	
15:30	2B23 大学の業績評価における論文の生産性 ○伊藤裕子(文科省)	2C23 引用特許の多様性と被引用数の関連性に関する研究 ○鈴木 裕, 清川朝日, 芳鐘冬樹(筑波大)	2D23 包括利益概念を導入した後の研究開発費レシオの検討 ○三好 出(立正大)	2E23 NEDOナノテクノロジー・材料技術開発における研究開発実施体制の分析と考察(「ナノテク・先端部材実用化研究開発」事例分析) ○半沢弘毅, 木内茂, 山田宏之(NEDO)	2F23 共同研究ネットワークの継続性—国際移動の影響— ○村上由紀子(早大)	2G23 我が国におけるソフトパワー戦略 ○原田大靖(東京理科大)	2H23 韓国における李明博政府の科学技術政策 ○鄭 元泳, 林幸秀(科学技術振興機構)	2I23 大学入試前後の創造性評価値の変化特性 ○櫻井敬三(金星星稜大)	

10月10日(日) 15:45~16:45

※ 各会場の講演番号、講演題目及び講演者の項目は各講演要旨へリンクしています。但し、リンクされない項目もあります。

	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
15:45	<p>2B24 新たな価値をプロデュースする力に関する考察 ○石塚隆男(亜細亜大)</p>	<p>2C24 研究機関ソーラースの構築とそれに基づく大学の研究活動の定量的評価 ○山下泰弘(山形大／文科省・科学技術政策研), 林 隆之(大学評価・学位授与機構)</p>	<p>2D24 企業サステナビリティを促進する次世代ブランド・スコアカード ○杉山大輔, 杉原太郎, 井川康夫(北陸先端科学技術大学院大)</p>	<p>2E24 戦略立案手段としてのForesight について ○治部真里, 福田佳也乃, 嶋田一義, 有本建男(科学技術振興機構)</p>	<p>2F24 アジアの課題解決に向けたハイブリッド技術経営の考察 ○福田佳也乃(科学技術振興機構), 渡辺千似(東京成徳大／シンガポール国立大)</p>	<p>2G24 スマートフォンの出現による情報通信企業への影響 —イベントスタディによる示唆— ○寺田真一郎(東大)</p>		<p>2I24 IT サービスマネジメント人材育成における産官学の現状と課題 ○本田祐吉(エヌアイシー・ネットシステム)</p>	
16:00	<p>2B25 基礎科学研究の追跡評価—研究室の活性度と外部レビュー— ○柳澤和章(日本原子力研究開発機構)</p>	<p>2C25 サイエンスマップにみる科学の流れ ○阪 彩香, 伊神正貫(文科省・科学技術政策研)</p>	<p>2D25 ファミリービジネスにおけるラディカル・イノベーション創出戦略 ○難波正憲(立命館アジア太平洋大)</p>	<p>2E25 国際研究交流に関する大規模アンケート調査の国際研究交流支援事業運営への適用 ○宇佐見健, 波羅仁, 高杉秀隆(科学技術振興機構)</p>	<p>2F25 ウェブサイトを通じた国際化戦略と人材育成—プロ野球リーグの事例から— ○藤原哲郎(早大)</p>			<p>2I25 科学技術コミュニケーション人材の能力・スキルに関する調査研究 ○上野伸子(未来工研)</p>	
16:15	<p>2B26 欧州委員会におけるインパクト・アセスメントの展開動向に関する考察 ○野呂高樹(未来工研)</p>	<p>2C26 ネットワーク指標を用いた高い継続性や波及効果を持つ研究領域の探索, サイエンスマップの活用事例 ○伊神正貫, 阪 彩香(文科省・科学技術政策研)</p>	<p>2D26 ソーシャル・イノベーションの戦略と社会性の評価 ○高 玲(亜細亜大)</p>	<p>2E26 科学知識生産の世界地図の刷新 ○富澤宏之(文科省・科学技術政策研)</p>	<p>2F26 討論</p>				
16:30			<p>2D27 市場原理が働かない公的分野における効果的な知識移転手法の一考察—平和展示資料館の知識移転の事例と技術経営への応用可能性— ○矢野博之(財務省)</p>						

16:45

第 25 回年次学術大会実行委員会

委員長	池島 政広	亜細亜大学
委員	伊藤 善夫	亜細亜大学
	加藤 敦宣	成城大学
	隅藏 康一	政策研究大学院大学
	三好 出	立正大学

協賛：IEEE Technology Management Council Japan Chapter

第 25 回年次学術大会 講演要旨集 CD-ROM

8,000 円

2010 年 10 月 9 日 発行

編集 研究・技術計画学会
第 25 回年次学術大会実行委員会
発行 〒107-0052 東京都港区赤坂 2-15-4
赤坂第一ビル 203 号
財団法人未来工学研究所分室 気付
研究・技術計画学会 坂倉 省吾
TEL/FAX: 03-3586-5302
郵便振替口座 00160-4-70197
銀行振込口座 三井住友銀行渋谷駅前支店
普通 0206284
CD 制作 (株) ニッポンパブリシティ

本要旨集の内容の一部あるいは全部を無断で複製すると、著作権および出版権侵害となることがありますのでご注意ください。